

WIPO事務局長

盛山文部科学大臣を表敬訪問



盛山正仁文部科学大臣は2月22日、世界的な所有権機関(WIPO)のダレン・タン事務局長の表敬訪問を受けた。

タン事務局長⑤と盛山文科大臣

国際的な知的財産制度を所管する国連の専門機関。本部はスイスのジュネーブにあり、加盟国数は193カ国。

世界的な所有権機関

タン氏(元シンガポール特許庁長官)と盛山大臣はこの日、知的財産の保護と推進に向けた協力について意見交換を行った。冒頭、タン事務局長は「私が10代の頃は、(日本)ソニーの製品をエンジンジョイしていた。また、アニメ『宇宙戦艦ヤマト』が大好き。今日は文化を担当する盛山大臣とお会いでき光栄だ」などと語った。

一方、盛山大臣は「デジタル化の進展により、インターネットを通じて国境を越えた著作権の侵害が増加しており、加盟国間での課題の共有や解決に向けた著作権分野における国際的な連携・協調の重要性が高まっている」と指摘。その上で「知的財産制度の国際的取り組みをリードするWIPOの活動に引き続き大きな期待を寄せている」と述べた。



覚書を掲げるコルスンスキー大使④と盛山文科大臣



覚書に署名を行うコルスンスキー大使④と盛山文科大臣

科大臣は「教育と科学技術の分野において、貴国と私たちが協力できることを大変うれしく思う。日本はウクライナともにもある。自由、民主主義、法の支配、そして人権という価値観を共有する両国である。一日でも早く、ウクライナに公正かつ永続的な平和が実現する日が来ることを願っている。これからの強い絆をお互いにつくっていききたい」と応えた。

文部科学省、ウクライナ教育科学省
教育及び科学技術分野における協力覚書署名式

文部科学省は2月28日、ウクライナ教育科学省との間の教育及び科学技術分野における協力覚書(MoC)署名式を、文科省大臣室で開催し、文科省からは盛山正仁文科大臣が、ウクライナ側からはセルギー・コルスンスキー駐日ウクライナ大使が出席した。

協力覚書は、同19日に都内で両国首相の出席のもと開催された「日・ウクライナ経済復興推進会議」において、両省間で教育及び科学技術分野における協力の一層の発展を図ることで合意したものである。署名式では、盛山文科大臣とコルスンスキー大使による覚書への署名が行われた。

署名後には懇談が行われ、コルスンスキー大使からは署名式開催への謝意が示されるとともに「両国の文部科学省(教育科学省)の最も重要な役割は、若者の教育の機会を与えることだが、ウクライナでは多くの若者の教育環境及び機会が奪われている。教育と科学分野において、盛山大臣はじめ文部科学省に多くの協力と支援を頂いているおかげで、ウクライナから日本に避難しているすべての子ども・若者は十分な教育の機会を与えて頂いており、誠に感謝している」と挨拶があった。